

《履修上の留意事項》 遠隔授業のみ実施

《担当者名》鈴木 和

【概要】

社会福祉で学んだソーシャルワークの基礎を踏まえ、精神保健福祉士が行うソーシャルワークの対象と概要について学ぶ。また、精神保健福祉活動における総合的・包括的な援助とチームアプローチの意義について考える。

【学習目標】

1. ソーシャルワークの対象と活動の目的について理解する。
2. 精神保健福祉分野において精神保健福祉士が行う相談援助活動とは何かについて理解する。
3. 精神障害者の相談援助における権利擁護の意義と精神保健福祉士の役割を説明する。
4. 精神保健福祉活動における総合的・包括的な援助とチームアプローチについて説明する。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	精神保健福祉分野における相談援助活動とは	オリエンテーション 授業の目的と内容の説明	鈴木
2	精神保健福祉分野における相談援助活動の目的	ソーシャルワークの根底を支える価値・理念	鈴木
3	相談援助の価値と理念	相談援助の価値・理念の具体的内容	鈴木
4	精神保健福祉士の役割と意義	精神保健福祉士制度の歩み 精神保健福祉分野におけるソーシャルワーク	鈴木
5	精神保健福祉士の役割と意義	精神保健福祉士の専門性 精神保健福祉分野にかかわる専門職の概念	鈴木
6	精神保健福祉分野における相談援助の体系	精神保健福祉分野における相談援助活動の対象	鈴木
7	精神保健福祉分野における相談援助の体系	地域の精神保健福祉分野における相談援助活動の現状と課題	鈴木 特別講師
8	精神保健福祉分野における相談援助の体系	日本の精神保健福祉の現状と課題	鈴木
9	精神障害者の相談援助における権利擁護の意義とその範囲	相談援助における権利擁護の概念と範囲 障害者の権利に関する国際的な流れ	鈴木 特別講師
10	精神障害者の相談援助における権利擁護の意義とその範囲	精神障害者の権利擁護システム 人権を擁護する精神保健福祉士の役割	鈴木
11	精神障害者の相談援助における権利擁護の意義とその範囲	人権にかかわる精神保健福祉士の現状と問題点	鈴木
12	精神保健福祉活動における総合的・包括的な援助と多職種連携	総合的・包括的な援助を支える理論 コミュニティソーシャルワークの重要性	鈴木
13	精神保健福祉活動における総合的・包括的な援助と多職種連携	多職種連携・チームアプローチの意義と概要 精神保健福祉士の役割	鈴木
14	本科目に関するまとめ (課題提出)	教科書の要点に関する課題を提出	鈴木
15	本科目に関するまとめ (課題提出)	教科書の要点に関する課題を提出	鈴木

【評価方法】

課題レポート30%，定期試験70%
小レポート30%，課題レポート70%

【備考】

教科書 : 日本精神保健福祉士養成校協会編集 『新精神保健福祉士養成校講座 精神保健福祉相談援助の基盤(基礎・専門) 第2版』 中央法規(2015)

参考書 : その都度, プリントを配布する。

その他 : この科目は、精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための「精神保健福祉相談援助の基盤」に該当する。

【学習の準備】

毎回の授業内容を確認し, 教科書, 必要な資料等を事前に読んで予習しておくこと。(80分)

毎回の授業終了時に提示した課題について調べ, まとめることにより学習を深めること。(80分)

課題レポートは授業の進行具合に応じて, 回数を設定する。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,1,4

【実務経験】

精神保健福祉士・社会福祉士

【実務経験を活かした教育内容】

精神科医療機関での精神保健福祉士としての実務経験を活かし, 実践的教育を行う。